



堀場製作所OB会

会報

通巻40号

発行日 平成28年7月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

- ◆第20期東京支部定例会
- ◆HOVC活動 キャリア部会
 - ・HOVC定例部会
- ◆HOVC活動 ボランティア部会
 - ・京都マラソン・ボランティア
 - ・桂川クリーン大作戦
 - ・鴨川を美しくする会
 - ・鴨川茶店
 - ・鴨川クリーンハイク
- ◆クラブ活動報告
 - ・山遊会
 - ・ゴルフクラブ
 - ・東京支部ゴルフクラブ
 - ・ボウリングクラブ
 - ・カラオケ同好会
- ◆OB会行事報告
 - ・春の懇親会……………がんど高瀬川二条苑
 - ・レジャー例会……………鉄道博物館見学
- ◆東京支部一泊旅行
- ◆研修旅行
- ◆会員寄稿文
 - ・京都の知ってるつもり
「保津川、高瀬川は、高速道路であった」…
海野 興一郎
- ◆OB会だより
 - ・堀場OB会ホームページ紹介
 - ・新入会員紹介
 - ・会報、ホームページへの寄稿要領について
 - ・OB会入会手続きについて
 - ・堀場製作所OB会クラブ活動運営基準
- ◆上半期堀場製作所ニュース ピックアップ
- ◆編集後記
- ◆年間行事予定



二条城の近くの閑静な住宅街の中に突如、黄金に輝く鳥居が目に入ります。名前が「御金神社」と書いて、“みかねんじゃ”と読む。御祭神は金山毘古神（かなやまひこのかみ）。金属全般にご利益がある事から、金・銀の貨幣にもご利益があるということで、資産運用、不動産など、お金に関するご利益を授かる神社として広く崇められる様になったとか。黄金の鳥居は台風で壊れた後、2006年4月に金箔を扱うお店の好意で鳥居に金箔が施され完成したそうだ。如何にも金運に恵まれそうです。

(酒井 俊英 記)

第20期東京支部定例会

第1回 定例会

東京支部では20期第1回定例会を1月15日（金）に佐藤常務と忽那所長の出席をいただいてTSO会議室で13:00より開催しました。

議題

1. 佐藤常務より会社現況説明
 - ・ 昨年創業70周年を迎え、業績は順調であり、特に半導体がよくいった。
 - ・ イギリスのマイラ社テストコースが最大の投資である。
 - ・ STEC内に最先端技術開発用にクリーンルームを整備、東北、韮崎SOなど整備、移転した。
2. 忽那所長よりTSOの現況説明があった。
3. 幹事会報告（11月13日）は次回以降の報告
4. 京都出張時新幹線の領収書を要求の件を討議した。高額の場合は必要。
OB会に旅費規定があるのか確認が必要。
（旅費、宿泊費、食事代、手当等）
OB会幹部会に東京支部より議題として提出してはどうか。
等の意見を頂き、東京支部より京都行事に幹事及び会員の出席に対して、不参加とすることです承された。
5. 9月の堀場幹部との懇談会・展示会見学会は今年は中止することです承された。

6. 総会（11月24日）の報告が辻川さんからあった。
7. 新入会員として板垣さん他2名が3月に入会する。他2名を担当より入会を進める。
8. 東京ゴルフクラブ3月に鷹GCで第2回コンペ、5月に益子CCで第3回を開催する。
9. 一泊研修旅行5月20日～21日に開催、益子地区、潮来地区の2案で検討した。
都合により5月13日（金）～14日（土）に変更し益子地区で益子焼見学を決定した。3月1日の支部幹事会でまとめ、3月25日の定例会で最終案内をする。
定例会終了後懇親会を「大新」で喫茶会をパローチエで行った。

出席者 佐藤常務、忽那所長、寺西栄三、草鹿悌二、辻川毅、土屋富夫、玉置健三、谷口義晴、大道寺英弘（谷口 義晴 記）



第2回 定例会

東京支部は20期第2回定例会を開催しました。

日時 2016年3月25日（金）13:00～

場所 TSO 33応接室

1. 幹事会（3月）報告を谷口幹事より行った。
2. 研修一泊旅行5月13日（金）、14日（土）の益子地区の内容を配布資料に基づき玉置副幹事長より説明された。
3. 京都行事に参加の交通費領収書その後の対応について現在検討中と報告した。



4. 設立20周年記念行事、20年表作成について検討した。本部アンケートの内容の行事は東京支部より参加はむずかしいため、別途北海道新幹線の函館、札幌地区、北陸新幹線の金沢地区、東北地区等で、10月よりの行事を東京支部として検討することになった。東京支部20年表は15年表に続けて制作する、カラー写真入りとしたい。記念行事と年表作成については別途会議を行うことになった。
5. 新入会員について5名の対応状況報告。
6. 東京ゴルフクラブコンペについて
第1回を10月9日鷹GCで開催、第2回3月22日は延期した、5月13日に第2回を益子CCで開催、9月に第3回の予定、11月に21期第1回を大日向CCで予定する。
7. 福島SiCについて質問などがあった。
会議終了後懇親会を「大新」で開催
出席者 寺西栄三、草鹿悌二、辻川毅、土屋富夫、玉置健三、谷口義晴、大道寺英弘、田中輝夫

（谷口 義晴 記）

第3回定例会

20期東京支部第3回定例会を行ないました

日 時 2016年5月14日 8:30~9:30

場 所 益子館

出席者 草鹿悌二、辻川 毅、土屋富夫、玉置健三、谷口義晴、大道寺英弘（敬称略）

議 題

1. 21期年間行事計画と申請予算の検討を行った。
年間行事で9月の社長との懇談会は、21期は継続してほしいとの意見がでた。暑い時期で、場所的に遠く出席者が少ないが検討する。21期予算は会員数3名増加の予定、20周年記念事業費等で申請予算が増加する。年間行事計画及び申請予算は別紙のとおり了承された。
2. 設立20周年記念事業の内容の検討を行った。本部アンケートの内容では東京より参加は難しいため、3月定例会で提案のあった3案を検討、北海道函館地区に決定しました。元ホリバリアンの草野氏に、全面的に協力をお願いすることにし



(谷口 義晴 記)

た。日程は1案：10月6日（木）～8日（土）2案：10月13日（木）～15日（土）上記2案の日程で草野氏に谷口が確認して決定する。内容は20年記念年表と含めて5月18日（水）TS0にて13:30～より臨時幹事会を担当と含めて会議行うことにした。担当は幹事と、まとめを辻川さんをお願いして、草鹿、土屋の5名として進めことになった。内容を早く決定して支部会員に早く案内し参加を募ることにする。（早い方が費用が安くなる）

HOVC活動 キャリア部会

HOVC定例部会

議事録から

開催日：2016年6月10日（金）

時 間：14時～15時

出席者：石黒、笠川、梶並、酒井、萩原、三橋、森山 村瀬、中村（十）、秋山

1. 鴨川クリーンハイク（9月4日、11月6日）
 - ・第3回 鴨川クリーンハイク9月4日
（丸太町橋⇒北大路橋）3名
（萩原）（中村正）（中村十）
 - ・第4回 鴨川クリーンハイク11月6日
（北大路橋⇒上賀茂橋）3名
（三橋）（中村正）（秋山）
2. 「鴨川納涼2016」 開催日 決定
【8月6日（土）、7日（日）】
8月6日（土）1日目2名（村瀬）（中村正）
8月7日（日）2日目2名（酒井）（石黒）

3. 生き方探求館「モノづくり工房学習」活動

堀場製作所辻さん、高阪さんよりのコメント
部品手配済、キット（基板、センサ組立）

8月末の予定

工房学習予定

9/23（金）葛野小 4年 82名

10/3（月）鏡山小 4年 77名

4. 祇園祭りごみゼロ作戦 7月15日（金）

・祇園祭りごみゼロ作戦

詳細は酒井さんより説明

5. 報告

・第2回 鴨川クリーンハイク6月5日（日）

（五条大橋⇒丸太町橋）3名

（中村正）（中村十規人）（森山晶成）

(森山 晶成 記)

HOVC活動 ボランティア部会

京都マラソン・ボランティア参加報告

平成28年2月21日(日)、「京都マラソン2016」のボランティアに参加しました。

「京都マラソン」は、東日本大震災の起きた翌年2012年を最初に今回で5回目を迎え、堀場製作所OB会からは、酒井、森山、中村(正)、笠川、伊藤(哲)、村田、萩原、竹内、池田と中村(十)の10名が参加しました。京都マラソンが実施される2月下旬は、例年寒風の強い日とかみぞれまじりの日とか大変厳しい天候が多い中、今年は例年とは比較にならない穏やかな好天に恵まれました。我々OB会のメンバーは、まず集合地点である松尾橋から少し東にある大塚医院駐車場所に集合、参加者同士の軽い雑談の後、コース沿道整理のボランティアとして最初の役目であるカラーコーンの設置と車道と歩道を仕切る京都マラソン2016と印刷された白いテープの張りの作業に取り掛りました。それが終わると各自の持ち場で待機。沿道住民の観客が少しずつ増える中、主催者側のコース点検車両とマラソンコースの距離を測定する3台の自転車部隊が通過しました。しばらくして最初に現れたマラソン参加者は白バイに先導された競技用車いすの選手でした。さすが、かなりのハイスピードです。その後も障害者の車いす参加者

が続いた後、トップ集団が一気にとおり抜け、一般ランナーも次から次へと大挙して走ってきました。さすが、約1万6千人の大参加者です。後で聞くとIPS細胞の山中教授やタレントのサバンナ八木そして元阪神タイガースの桧山などの有名人も走っていたとのことでしたが、まったく分かりませんでした。しかし、何人か参加していた堀場グループの社員とハイタッチしたり、マラソン参加者の熱気をまじかに感じた大変熱く楽しいボランティア活動となりました。最後は、梅宮大社での記念撮影。来年も是非このボランティアに参加したいと思います。(中村 十規人 記)



桂川クリーン大作戦参加報告

第9回桂川クリーン大作戦について報告します。桂川は南丹市から亀岡市を通り宇治川、木津川と合流し淀川へと流れています。桂川クリーン大作戦は、国土交通省淀川河川事務所の支援を受けてスタートして9年目となります。昨年2015年は212団体3,108名の参加で行われました。この第9回となる桂川クリーン大作戦に堀場製作所OB会より、梶並、宮本、森山、中村(正)、中村(十)、笠川の6名で参加してきました。



当初の計画では、2月14日の予定でしたが、前日に多くの雨が降ったので延期となり2月28日(日)開催となりました。延期の結果、天気も良く春の陽気での開催となりました。開会式では、各団体紹介があり堀場OB会からは森山さんが代表して発表いただきました。その

後、松尾橋から上流に向かって一齐に清掃の開始となり、ごみ袋と火鋏を持ってごみを拾いました。歩道付近は大変に美しいのですが、河原に降りると上流から流れてきたと思われるごみがあり、ごみ袋はしだいに重たくなっていきま

した。近くの運動公園では凧揚げ大会も開かれて、子供達の歓声も聞こえてきて、穏やかな雰囲気の中での約1時間の清掃活動を終えごみ集積所に拾ったゴミを置き終了しました。

毎年好例となっております。帰路にある喫茶店で、ぜんざいをいただくことにしました。おいしいぜんざいに、大きなやわらかいお餅が入ったのを参加したみんなにいただきました。来年も清掃活動に参加すると心に決めておなかがいっぱいになって春の風の中を帰りました。

(笠川 重美 記)

鴨川を美しくする会主催の鴨川茶店が4月9日（土）と10日（日）の両日第42回目が開催されました。堀場OB会からは、2日間で6名がスタッフとして協力させていただきました。茶店は京都府立植物園西側の北山通りから北大路通りの「なからぎの道」で開催され、植物園も春の花の見ごろとなっていて、天気も大変に良く、多くの来場者がありました。



堀場OB会の受け持ち範囲は、北大路通りからの南進入口付近の交通整理と来場者の道案内です。特に植物園の駐車場への入り口と重なっており、また、騎馬隊の馬の大型輸送トラックの駐車場確保が重要な担当で、今年も、船越さ

んが段取りよくてきばきと誘導されておられました。私は、北大路に面したところで、道案内をさせていただいていましたが、植物園の入り口とか、最寄りのバス停や、地下鉄の駅も聞かれました。今回中国からの観光に来られた方で、言葉は通じませんでした。タブレットをお持ちで地図を提示されたので、近くのバス停と、行き先ルートのバス番号をお教えしました。（時代を感じました）私たちには、お弁当と、茶券をいただき、休憩時間の短い間に、花見と団子をいただき、春を満喫させていただいた、一日でした。

4月9日（土）3名（船越）（笠川）（三橋）

4月10日（日）3名（森山）（酒井）（中村正）
（笠川 重美 記）



鴨川クリーンハイクに参加して

◇平成28年4月29日（金）に「鴨川を美しくする会」主催の第1回「鴨川定例クリーンハイク」に参加しました。参加したのは、石黒英憲、村瀬潤、中村十規人の3名で、午前10時少し前に五条大橋西北詰の五条公園に集合しました。空模様は曇り。この時期にしては少し肌寒かったもののクリーンハイクとしては、汗もかかない丁度良い天気でした。当日の参加者は全体で約200人、主催者の挨拶や事務局の説明の後、早速、清掃活動を始めました。我々堀場OB会の担当エリアは、鴨川左岸と川端通の間の歩道。終点の丸太町橋を目指し、片手にゴミ袋、片手にゴミバサミを持ち、クリーンハイクを開始。歩き始めは、ゴミもほとんど無く、ちしばらく歩くと、眼もなれてきたのかタバコの吸い殻や菓子類の包み紙等いろんなゴミを拾いました。雨傘、姿見そしてプラスチックの衣装ケース等の大きなごみも出てきました。

途中、鴨川の川中ではウエットスーツ姿の男女が、川床のゴミも集めていました。また、クリー

ンハイクをしながら、川岸のヒラドツツジやタンポポそしてベニカナメモチなどのきれいな花も見ることができました。桜は、ソメイヨシノは葉桜になっていたものの、遅咲きの濃いピンクの八重桜（調べると「関山」という園芸品種でした。）は見ることができました。鴨川の景色や花を楽しみ、健康に良い日を過ごすことができました。

（中村 十規人 記）

◇平成28年6月5日（日）第2回「鴨川を美しくする会」ボランティア活動に参加しました。曇り時々雨の予報のもと、参加者は、中村十規人、中村正博、森山晶成の3人で、五条大橋から丸太町橋まで約 2.5Kmの清掃を行いました。区域は左岸側の鴨川沿いを五条大橋から上流への清掃でしたがゴミは少なく、小さなゴミを回収され量的に評価すると中村十規人（中）、中村正博（中）、森山晶成（極小）の結果でした。川にはコイやナマズが泳いでいました。全体的な感想としては鴨川を美しくする会の活動で川は美しく、ゴミも少なくなり地道な努力の結果ではないかと改めて感じました。
（森山 晶成 記）

クラブ活動報告

山遊会報告

◇第43回例会山行

- ・実施日：平成28年2月27日(土) 晴
- ・山行先：大文字山(465.4m)
- ・参加者：池田俊明・下川和子・高橋義治・
下川博司・橋口純男・倉原政治・
丸山博・宇野久二男

午前8時30分銀閣寺道鹿ヶ谷通りに集合し、同40分出発。10名の予定であったが急遽2名が不参加となる。三寒四温の早春だが今朝は冷え込みがきつようだ。防寒着を着たままゆっくりしたペースで歩を進める。9時18分大文字火床に到着、山での安全を弘法大師に祈る。市街は春霞(PM2.5の影響か)で視界は今一つだ。小休止ののち頂上へ向かう。9時50分山頂到着、山科から登頂してきた高橋さんと落ち合う。大文字山は京都市民の山であり、早朝から賑わっている。記念撮影を済ませ10時下山開始、京都一周トレイルコースを歩き10時30分標識42から南禅寺に向かうわき道に入る。尾根筋の急坂を下り10時52分新島裏墓に立ち寄り。テレビドラマで一躍有名になった八重さんや山本覚馬の墓標を確認し、11時12分熊野若王子神社に着いた。ここから第6回総会会場である聖護院/御殿荘まで歩き、集合時間の12時少し前に予定通り到着した。総会には萩原孝一、森本順孝、中村正博、山岸豊の4氏に初参加の加藤順三さんを加え、今後



の山行計画や特に来年度が山遊会創部10周年と例会山行第50回の節目が重なるため等和やかなうちに話が弾み、懇親会中の記念撮影も済ませ15時頃お開きとなった。(下川 博司 記)



◇第44回 例会山行

- ・実施日：平成28年4月8日(金) 晴
- ・山行先：青根ガ峰(858m)
- ・参加者：下川和子・高橋義治・下川博司・橋口純男・倉原政治・宇野久二男・山岸豊・加藤順三



昨年計画するも雨で中止となったため再度の挑戦となる。午前7時30分近鉄京都駅に集合し、同42分発橿原神宮前行き急行に乗り、吉野行き急行に乗り換え大和上市駅に9時48分下車。9時55分発のコミュニティバス(やまぶきバス)柏木行きに乗り込む。大滝バス停に行く予定であったが、蜻蛉(せいらい)の滝に行くには西河バス停が良いとのことで、10時15分1つ手前で降りる。準備体操を済ませ30分出発。10分ほど歩いてあきつの小野公園で、思いがけない鮮やかな紅しだれ桜やソメイヨシノに感激。整備された公園内を進み石段を上がると、昨日の雨で水量を増した見事な滝が現れる。高さ約50m、雄略天皇ゆかりの滝で万葉集にも記述がある名瀑。ここで1枚目の記念写真を撮る。(次頁に続く)

11時公園入口まで戻り車道を登る。滝の上から川沿いにくる道との合流点あたりで地道となり、音無川沿いを上流へと詰めてゆく。11時50分頃道が二股に分かれ右側に行く。急坂となりいつしか川沿いを離れ、支尾根を巻くように登り、遠くに見えていた高圧線の下を通過して12時40分尾根道に出た。山頂を巻くように南へ、大峰奥駈道との出会いで少し開けたところがあり昼食休憩とする。13時15分出発、登ること3分で頂上到着。展望もなく狭い山頂に三角点があるのみ。恒例の集合写真を撮り早々に下山。10分ほどで安禅寺宝塔跡に出、道標に従い西行庵へ寄り道することに。この辺りは奥の千本で、桜はまだつぼみで開花している木は見当たらない。それでも花見客は結構ここまで足を延ばしてきている。古木を切って若木への植え替えが進められているようだ。苔清水、西行庵を巡り14時5分金峯神社に、14時30分吉野水分(みくまり)神社着いた。中の千本あたりからようやく吉野の桜らしい景色となり、道沿いに桜をバックに3枚目の記念写真に納まる。金曜日にもかかわら

ず大勢の花見客で混雑する中、近鉄吉野駅まで下り16時7分発阿倍野橋行き急行に乗り、橿原神宮前駅で乗り換え18時18分京都駅に帰ってきた。

(下川 博司 記)



◇第45回例会山行

- ・実施日 : 平成28年5月28日(土) 曇
 - ・山行先 : 十方山 (304.4m) 天王山 (270m)、サントリー (京都ビール工場) 見学
 - ・参加者 : 池田俊明・下川和子・高橋義治・下川博司・橋口純男・倉原政治・丸山博・中村正博・宇野久仁男・加藤順三・奥様
- 今回加藤さんの奥様の参加を加え9名での山行となった。JR山崎駅に9時に集合し10分スタート。

離宮八幡宮や関大明神社

(山背国と摂津国の国境の関所跡)を見ながら西国街道を西へ進む。水無瀬川の少し手前で右手に折れ、JRを潜り住宅街を抜け名神高速道路を3本潜って4本目のトンネルの真上に水無瀬の滝がある。とりあえず本日最初の集合写真を撮り、登山の支度と準備体操を済ませ9時50分出発。笹の葉を幾重にも敷き詰めた竹林の



谷筋に行く。風はなく蒸し暑い空気がまとわりつく。程なくして左に折れ竹林を離れて尾根筋にかわる。水分補給をして先へ進む、ソヨゴの小さな白い花が元気付けしてくれる。10時40分十方山山頂についた。2枚目の記念撮影をして55分出発。爽やかな稜線を歩き、三叉路を右に折れ天王山を目指す。天王山ハイキングコースとして整備された

道に行く。途中龍神の池に寄り道して11時30分天王山山頂に到着、3枚目の写真を撮り昼食とする。山頂は山崎城天守台跡で天下分け目の合戦で勝利した後羽柴秀吉が築城したところ。12時10分山頂を離れ来た道に戻る。道沿いのネジキがスズランにも似た白いかれんな花を咲かせていて一同感動。11時35分柳谷別れを右にとり、急坂を下り13時小倉神社にでた。奈良時代の718年に鎮座し、桓武天皇の平安遷都にともない大内裏の鬼門除けとして祈願された由。時間調整を兼ね13時25分境内を出て、阪急西山天王山駅から京都縦貫自動車道を潜り14時丁度サントリー京都ビール工場に着いた。この時間では14時30分からの見学コースに変更も可能だが、シャトルバスで参加予定の高橋さん・中村さんと合流するため、予約通り15時15分のコースまで待合所で時間をつぶし、総勢11名でプ

レミアムモルツの生産工程を見学した後、待望の試飲タイムではプレミアムモルツほか2種類の新製品を飲み比べ、のどを潤した。見学後はそれぞれお目当てのビールなどお土産を買い求め、16時45分発のシャトルバスに乗り、阪急西山天王山駅とJR長岡京駅に分かれ帰宅した。(下川 博司 記)

ゴルフクラブ 京都

平成28年5月13日（金）に、第4回堀場OB会ゴルフコンペを、クラウンヒルズ京都ゴルフクラブ（参加メンバーの内山様は、理事をされています。）で開催いたしました。当日1名ドタキャンのハプニングもありましたが、雲ひとつない快晴の文字通り五月晴れの下、9名3組で和気藹々で行われました。気温も28℃と夏を思わせる温度となりましたが、爽やかな風もあり文句のつけようのないゴルフ日よりでした。コースはあまり距離が長くはないですが、狭いフェアウェイで戦略性が求められるコースです。今回から、参加者全員に優勝の機会が有る様に、前回・前々回優勝者、前回準優勝者は、ダブルペリアで計算されたハンディキャップから2打、1打を差引いて順位決定することで行われました。がしかし、優勝されたのは、宇野さんでした。実力者の宇野さんは、堀場OB会ゴルフコンペ3度目（1回2回4回）の優勝となります。終了後の表彰式では、全員に優勝のチャンスを与えようと宇野さんは、ハンディキャップから4打引くことに決めました。又、次回からは、バスグロ賞も廃止すること

にしました。開催場所に付いても、年2回行われるOB会コンペの開催地は、春は京都、秋は滋賀で行うことにしました。今回初参加の毛利さんからは、思っていたより楽しい雰囲気のコペで次回以降も是非参加したいと嬉しいコメントをいただきました。ついでに、ボーリングにも参加してくださいとの堀場OB会ボーリング部のPRもちゃっかりされていました。尚、次回幹事は、宇野さん、佐々木さんです。

参加者：（敬称略）

- 1組 内山 高橋 佐々木
- 2組 鈴鹿 永井 毛利
- 3組 山田 宇野 中村

クラウンヒルズ京都ゴルフ倶楽部

参加者9名。

- 優勝 宇野
- 準優勝 佐々木
- 3位 内山

（永井 博 記）

東京支部ゴルフクラブ

20期東京支部ゴルフクラブは第2回ゴルフコンペを開催

東京支部ゴルフクラブでは、第2回ゴルフコンペを2016年5月13日に開催しました。

栃木県益子町で知人の進めもあり、前評判の良かった益子カントリー倶楽部でプレーを行ないました。前日の暑さも弱まり、うす曇りの絶好のゴルフ日和でした。当クラブはフラットな地形に造られた、落ち着いた雰囲気の丘陵コースで、27ホールズであり、手入れも良く、非常に良いゴルフ場でした。10時スタートで評判の良さのためか少し混んでいましたが、遅れることなくスムーズで、全員気持ち良くプレーが出来、気にいっていただきました。競技は新ペリア方式（上限トリプル）で村島さんがグロス97、HC21.6で優勝されました。DCでは、飛ぶ人はフェアウェイを外れ、草鹿さんが獲得されました。プレー終了後「益子館」に移動して表彰式と賞品の授与を行いました。

参加者

草鹿悌二、谷口義晴、古田秀幸、村島和宏

（谷口 義晴 記）



ボウリングクラブ

【2016年2月開催】

最近やや調子を落とし気味の毛利選手が良く走り鋭く曲がるニューボールで復活優勝です。因みにハンデは180点をゼロとして過去5試合の平均スコアとの差で決まります。2月例会では永田真寿夫さんがトップハンデで11ですが、これはアベ169点です。ローハンデを目指しましょう。

(毛利 隆文 記)



【二月例会参加者】

氏名	1G	2G	3G	計	HD×3	ネット	順位
毛利隆文	213	191	190	594	45	639	優勝
峯田真弓	117	142	168	427	156	583	②
芦谷恭通	156	145	145	446	126	572	③
毛利信之	87	144	128	359	198	557	④
永田真寿夫	202	153	160	515	33	548	⑤
田中光子	118	120	140	378	168	546	⑥
毛利信子	73	104	115	292	246	538	⑦
中村正博	147	136	134	417	114	531	⑧
鳥島義則	109	89	110	308	177	485	⑨

カラオケ同好会

第1回カラオケ同好会活動報告

2月27日（土）16時より四条大和大下ル「紬つむぎ」を貸切して、第1回記念すべきカラオケ同好会を開催致しました。

参加者の皆さんもかなりの歌名人で演歌あり、ポピュラーありなつかしの歌ありで、ママとデュエットしたり、マイクを離さない人、柱本さんもホイットニー・ヒューストン等、歌って頂き、大いに盛り上がり、あっという間の3時間でした。



生憎、開催案内の周知徹底が計れず、参加者は、7名と期待以下の開催となりましたが、ママから鯖寿司、手料理の差し入れ、私の友人でありますプロの歌姫、柱本（藤田）めぐみさんが特別参加してくださいました。

今後は、偶数月の第4土曜を定例会として開催を予定したいと思っておりますので皆様の御参加宜しくお願い致します。

(小川 柁幸 記)

第2回カラオケ同好会活動報告

4月23日、春の懇親会終了後の夕刻より「紬」にて第2回カラオケ同好会を開催致しました。今回は、少しずつ認知されてきたようで新しい参加者もあり10名の参加となりました。

吉井さんの乾杯音頭でスタートし、流石に、皆さんカラオケが好きとみえ、最初からノリノリで、圧巻でしたのは、あの吉井さん、マイクの鬼、サザンからフランク永井まで熱唱でした。

今回も、友人であります歌手の藤田めぐみさんも参加下さいまして、4時までの3時間が、あっという間にすぎ、同好会のテーマ曲<青春時代>を全員で熱唱して解散となりました。多くの参加お待ちしております。 (小川 柁幸 記)



OB会行事報告

春の懇親会

2016年4月23日(土)正午から、春の懇親会が開催されました。当日は初夏を感じる程の好天でした。堀場製作所からは、齊藤壽一副社長が参加していただき、参加者は42名を数える盛況となりました。今回の会場は、がんこ高瀬川二条苑で、この会場の良さを改めて見直した結果になりました。

宴は小川幹事の司会で始まり、代表幹事の挨拶の後、4月14日から地震の続いている阿蘇工場の状況について、副社長から御報告を頂きました。不幸中の幸いながら、従業員とその家族には死傷者は無かったとの事で、有難いことでありました。工場自体は、大きな被害は少ないと

の事でしたが、従業員や、その親族の住居の方は、西原村の人も多くて、被害が大きかったそうです。現状、勤務に復帰することが困難な人もいて、復旧の状況を見守っているということでした。一日も早い復旧をご祈念申し上げます。

内山さんの乾杯の御発声で宴会が始まり、喧騒のるつぼとなりました。一段落したところで、新入会員の早田さんのご挨拶、各クラブからの勧誘の挨拶があり、最後に全員で、第二無鄰菴のお庭に移動して、記念の写真を撮りました。参加された皆様には、楽しかった、良かったとお声を頂き、幹事一同も疲れが吹っ飛びました。 (酒井 俊英 記)



レジャー例会

レジャー例会2016年6月18日

今回のレジャー例会は京都鉄道博物館の見学と、京果会館内の听（ポンド）での食事でした。京都鉄道博物館は今年の4月29日にオープンしたばかりの施設で、旧梅小路蒸気機関車館をリニューアルして、SLの他に機関車や電車などの車両の博物館です。この博物館は、また「鉄道を基軸とした事業活動を通じた地域の活性化に貢献する」という基本ミッションを掲げ、「見る、さわる、体験する」といった「学びの場」となることを目指した施設です。



前回の水族館の近くにあり、梅小路公園として最近整備が進んでいるエリアです。レジャー例会当日は、梅雨のシーズンでしたが、梅雨とは思えない良い天気でした。10時に京都鉄道博物館前に一同38名が集合し、京都鉄道博物館を見学しました。

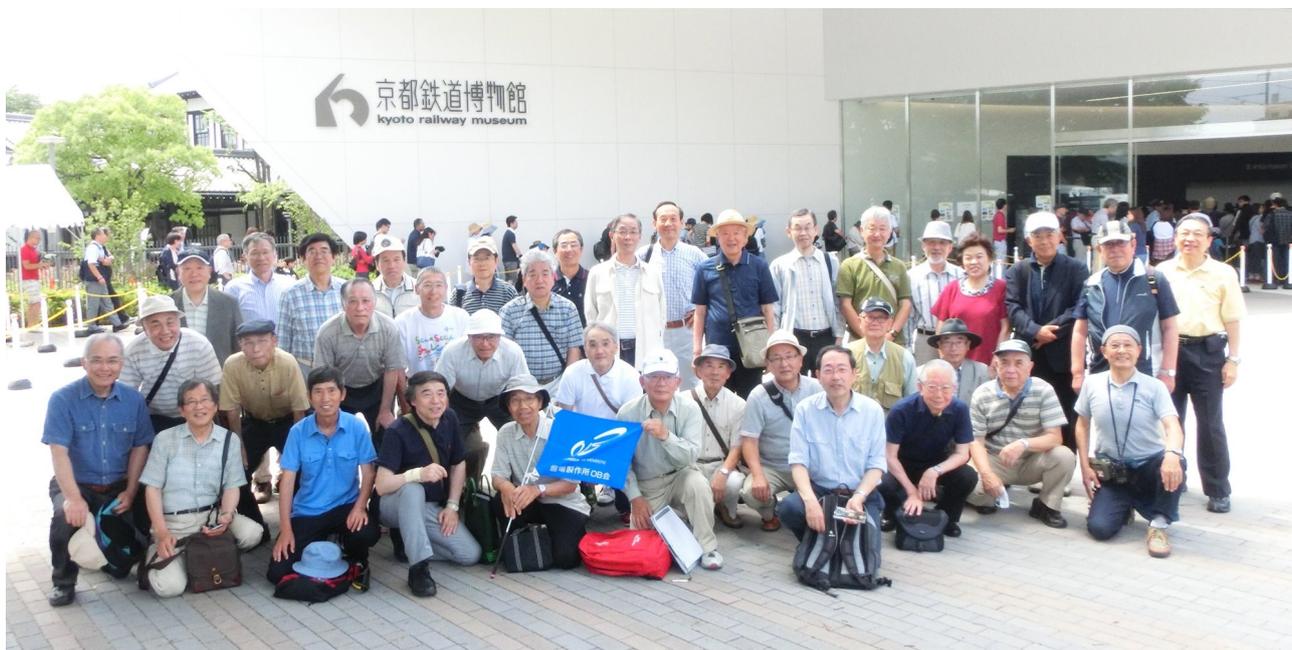
自由行動とし、めいめいが好みの施設に飲み込まれていきました。堀場OBのメンバーには鉄ちゃんが多く、車両を楽しむ人、施設を楽しむ人、など思い思いの場所を見学しました。特に巨大ジオラマは人気で、時間制であったこともあり、長い行列ができて、思うように入れなかったところです。早く見られた方はラッキーでした。ジオラマは京都駅や周辺の駅や線路のイメージを再現し、1日の駅や電車の走行の様子を再現していました。

また、スカイテラスからは、東海道新幹線、東海道線、山陰線を走る列車が見られ、また梅小路機関区の配線が手に取るように見られました。鉄道好きの人にとっては、絶好の場所でした。



昼食は七条通りの向かい側の、京果ビル内にリニューアルした店である「熟成ハンバーグとステーキ 听（ポンド）」で行いました。なおステーキは10名限定ということで、朝10時からメニューの希望を聞き、順番に注文を受け付けました。ゆっくり楽しめた一日でした。

(三橋 泰夫 記)



東京支部 一泊旅行

部研修会一泊旅行を開催しました。

年月日：平成28年5月13日(金)～14日(土)

場所：栃木県益子地区

参加者：草鹿、辻川、土屋、大道寺、玉置、谷口、古田(ゲスト) 敬称略

5月13日(金)現地集合場所の栃木県益子の里山リゾートホテル益子館にて、夕食を参加者全員で取り、食後遅くまで2次会を含めて歓談となりました。翌朝は食後定例会が行われ終了後参加者は、先ず本旅行の安全の祈願として国重要文化財である西明寺本堂にお参りし、爽やかな気分で濱田庄司記念館に移動、陶芸界の巨匠で人間国宝でもあり、また文化勲章受賞者である濱田庄司氏の工房や作品、登り窯等を見学し、更に多くの国内外の古代から現在までの多岐にわたる氏の収集品が展示されており見応えのある記念館でした。続いて益子陶芸美術館に移動し、濱田庄司の作品を初め多くの陶芸家の作品が展示されており陶芸の美しさにふれ、更に陶器及び陶芸品の元である土が表す、古代の陶による立体表現として心の形、土の形、祈りの形、器の形等それぞれ作品が展示されていました。私の陶器に関する認識は食器、花瓶等が食物を美味しく感じさせたり、生花をより美しく見させる脇役程度の認識でありましたが、いかに軽薄な感覚であったかを確認出来、恥ずかしさと同時に陶芸品の作品を見てそのすばらしさに関心し、見事に陶器も主役であることを気付かされました。

他の参加OBの皆さんも私同様に陶芸品に関し見方、感じ方が少し変化した事と思います。続いて移動し、陶芸品製作者

の合同展示販売店を見て廻り、お土産を買われて昼食を取り帰途に着きました。

参加OBの方々も日頃の生活から一時離れ陶芸品の鑑賞等で心の休養も出来た事と思います。

【参考】

公益財団法人 濱田庄司記念益子参考館と濱田庄司

公益財団法人 濱田庄司記念益子参考館は、濱田庄司自らが長い時間をかけて蒐集した陶磁器、漆器、木工、金工、家具、染織、その他の工芸品を展示・公開するため、自邸の一部を活用するかたちで1977年4月に開館しました。濱田の蒐集は日本国内にとどまらず中国、朝鮮、台湾、太平洋諸島、中近東、ヨーロッパ、南米など、また時代も古代から近現代まで多岐にわたります。その蒐集品は、自分の作品が負けたと感じたときの記念として、濱田が購入し蒐集した諸品です。これらは、濱田の眼を楽しませ、刺激し、制作の糧となったもので、身近に間近く置いて親しんだものでした。益子参考館は、濱田がそれら品々から享受した喜びと思慮を、広く工芸家および一般の愛好者と共にしたい、また自身が参考としたものを一般の人々にも「参考」にしてほしい、との願いをもって設立されました。(玉置 健三 記)



研修旅行

第20期 湯村温泉一泊旅行報告

今年の1泊研修旅行は、総勢15名で兵庫県の湯村温泉を訪れました。

ここ数年おなじみとなった湯快リゾートのバスで、新大阪を經由して、鳥取砂丘で昼食と砂丘見学をして、ゆっくりと14時に湯村温泉の三好屋に到着しました。

車中から、お互いに近況を報告をしたり、昔話に花を咲かせました。特に、最近音信が途絶えた人の様子を尋ねたりと、OB会ならではの話で盛り上がりました。

ホテル内でも、さすがにOB会と言いたくなるように、かつての仕事での面白いお話などを聞かせて戴きました。そして温泉でリラックスした後の全員での夕食は、バイキング形式でステーキやゆで蟹そして海の幸を戴きながらの飲み放題、このためにまたまた体重が増えてしまいました。

食後は、寝る人やカラオケを楽しむ人、いろいろな方法でこれからの英気を養いました。カラオケは年々歌う人が増え、また上手になっていけるように感じました。

そして2日目は残念なことに雨模様。それでも、湯村温泉の散策を楽しみ、夢千代像のある公園や夢千代館の見学をしました。

その後、渡辺水産直営の食事処で海の幸で昼食を取り、バスの出発までカラオケを再び楽しみました。

帰途は、鳥取の賀露港の水産物店に寄り、会費の割引もあったことで、留守番をしてきている家族にお土産の蟹を買って帰りました。

やはりOB会の研修旅行であり、かつての仲間の近況を伺うのは懐かしいものでありました。

(石黒 英憲 記)



OB会でよく利用する「がんこ高瀬川二条苑」は、高瀬川の取水口に造った角倉了以の別邸跡地に、後に受け継いだ山縣有朋が建てた別邸を料亭にしたものであるが、今回取り上げるのは、元の持ち主の角倉了以のことである。

角倉了以(すみのくらりょうい 1554~1614年)姓は吉田。先祖は近江国(滋賀県)犬上郡吉田村の出身で、室町時代に上洛。室町幕府お抱えの医者を務める傍ら、土倉業(質屋等金融業)も営む。了以の父で医者の子桂は、長男：了似に土倉業を、次男：宗恂に医者を継がせる。その了以は屋号の角倉で営むが、1592年朱印船貿易にも手を伸ばし、何度も安南国(ベトナム)に渡航し莫大な富を得る。



【角倉了以像】

その富を元手に今度は水運業に進出する。それは、1604年50歳の時、長崎から京都へ帰る途中、備前(岡山県)和気川を舟で渡った際、その舟が平底で、浅い川でも運航が可能に気付いた了以は、保津川(大堰川)を使って、丹波の材木や米を舟で京都に運べば、丹波、京都双方に利益になる上、通行料で投資費用も回収でき、末代まで潤うと考えた。早速1605年長男の素庵(号：素庵本名：与一1571~1632年)から幕府に申請させ、保津川30数km上流から嵯峨までの開削・使用权を取得。翌1606年開削開始、半年で完成し、幕府を驚かせた。了以は、自ら石割斧を振るって工事に当たったと言われている。開業には、瀬戸内水軍：来島氏に応援を求め、和気川の舟子を船頭として呼び寄せ、通行料だけでなく、運ばれた米の倉庫料も徴収し、開削費用の回収に充て、さらに上納金を納め、幕府への配慮も怠らなかったのである。

その後、幕府から命じられた1607年富士川開削は8カ月で完成するが、翌1608年の天龍川開削は、急流過ぎて挫折。ところが、今度は京都での活躍の場を与えられるのである。それは、1609年舟で遡るための鴨川改修工事であった。当時、方広寺大仏殿再建で、伏見から方広寺までの建設資材の陸送は困難を極めていた。そこで翌1610年工事を開始し、半年で完成させた。この時、暴れ川の鴨川を、氾濫の度に修復が必要と感じた了以と素庵は、鴨川に平行した運河の開削を幕府に申請し、許可を取得。それが、1611年工事開始1614年完成の高瀬川である。その距離は伏見港から鴨川西沿いの二条まで約11kmで、舟に結んだ綱を曳子が曳歩くための曳舟道を設け、途中荷物の積み降ろしのための舟入を七ヶ所設けた。完成した1614年了以は60歳で死去するが、素庵が継承する。高瀬川の開削費用は7万5千両とされるが、通行料から経費等を差引いても年間収益は1万両を超えたと言われた。勿論通行料を支払っても、人馬で運ぶより採算性に優れ、1920(大正6)年廃止されるまで、306年間も利用されたのである。

運送方法に人馬しかない時代に、保津川では丹波の材木、薪炭、米が、高瀬川では伏見港から材木、薪炭、米、酒、醤油、海産物が、舟で京都に輸送された経済効果は計り知れないものであった。まさに保津川、高瀬川は、今で言う高速道路であった。高瀬川の舟入には問屋が生まれ、同業者町ができ、繁栄したのは言うまでもなく、石屋町、材木町、塩屋町、樵木町の町名が今も残っている。ところで1889(明治22)年琵琶湖疏水施工中の京都府知事：北垣国造が、なんと嵯峨にある了以の舟番所兼邸宅(現：料理旅館「花のいえ」)を別邸として購入し、田邊朔郎が、後年ご自身の戒名を「水力院釈了以居士」としたのである。これは了以を京都の水運の偉大なる先駆者として崇めていたからに他ならないのであろう。



【花のいえ】

OB会だより

－堀場OB会ホームページ紹介－

堀場OB会のホームページはクラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

◆ホームページアドレス

<http://horiba-ob.com>

◆堀場OB会メールアドレス

horiba.ob@gmail.com

ホームページがリニューアルされました。



－新入会員紹介－

平成28年1月以降に入会された会員を紹介します。（敬称略）会員番号

2002－ 岡田 義明 2003－ 早田 善孝 2004－ 板垣久美子 2005－ 川野佳子(旧姓石川)

2006－ 程野 知子(旧姓横江)

－会報などへの寄稿要領について－

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ活動、ボランティア活動等の諸活動報告をお願いしています。紙面の都合で事務局により多少編集させていただきますのでご理解のほど宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内（写真を1枚～2枚添付下さい）

◆ホームページへの活動報告

800文字以内（写真を1枚～2枚添付下さい）

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

テーマは特に決めていません。

<旅行の感想>、<地域での活動>、<地域

の旧所名跡の紹介>、<地域の祭り>など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。投稿者にはささやかながら「図書カード」(1,000円分)を進呈させていただきます。会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、6月末を目途に提出いただくようお願い致します。

◆著作権について

・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。

（発行元、書籍名、著者）

・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

horiba.ob@gmail.com

－OB会入会手続きについて－

OB会未加入の方が入会を希望される時は、入会申込書をOB会に提出していただき、入会承認の後、入会費、年会費を納入し、正式なOB会員として登録される手順となります。「入会申込書」は、OB会ホームページよりダウンロード出来ます。

■OB会入会手続きの手順

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入、メール添付又は郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。（手続き完了）

OB会だより

堀場製作所OB会クラブ活動運営基準施行

施行 平成28年4月1日

改正 平成28年5月1日

第1条(目的)

堀場製作所OB会は、会員の趣味、特技を生かし会員相互の親睦を図るため、堀場製作所OB会クラブ活動を支援する。本基準は、堀場製作所OB会クラブ活動の支援に係るクラブの認定、活動補助金等について定める。

第2条(クラブの認定)

堀場製作所OB会会員の中の任意のグループから申請があり、第3条に記載する基準を満たした場合、OB会のクラブとして認定する。

第3条(クラブ認定基準)

堀場製作所OB会のクラブとして認定されるには、以下の①から③の条件すべてを満たし、幹事会で承認されることを必要とする。

- ①6カ月以上活動実績があること。
- ②堀場製作所OB会会員である5名以上のクラブメンバーがいること。
- ③クラブ活動計画、クラブ活動報告、クラブ活動収支報告書、クラブ補助金申請書等幹事会が求める書類を提出できること。

第4条(クラブ活動補助金)

OB会承認のクラブには、その活動を支援するため、クラブ活動補助金を支給する。クラブ活動補助金は、クラブ活動に伴うクラブ員が共通的に支出する諸費用の20%以内を原則とする。

第5条(クラブ活動補助金の申請、支給及び精算)

クラブ活動補助金の申請、支給及び精算は、以下のとおりとする。

- ①クラブ活動補助金の申請は、翌期分を毎期9月20日までにを行うこと。
- ②クラブ活動補助金は、総会にて承認後速やかに各クラブの代表者に支給する。
- ③各クラブは、毎期、クラブ活動報告書と活動費用を明確にした領収書を提出しなければならない。

第6条(会計年度)

クラブの会計年度は、毎年10月1日から翌年9月30日とする。

第7条(疑義の対応)

この基準に、疑義が生じた場合は、OB会幹事会で決定することができる。

第8条(この基準の改訂)

この基準は、堀場製作所OB会幹事の過半数の賛成を得た決議により改訂することができる。

賛否同数の場合は、OB会代表幹事の決定によるものとする。

第9条(附則)

①この基準は、平成28年4月1日より実施する。

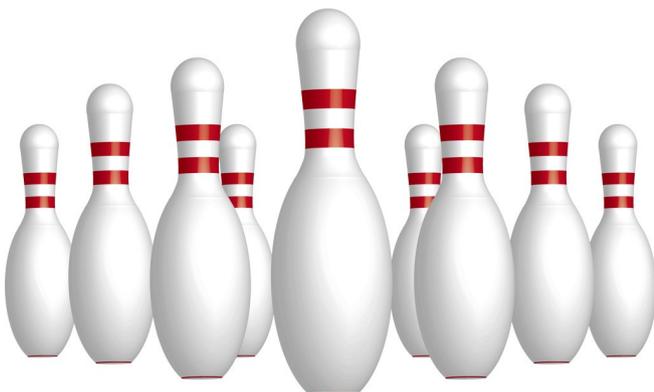
②この基準は、平成28年5月1日より実施する。

(第5条を改正する)

以上

(本基準は、平成28年3月11日の定例幹事会において決定した。)

(本基準は、平成28年5月13日の定例幹事会において決定した。)



①—新中長期経営計画MLMAP2020スタート—

MLMAP2020 では、売上高2,500 億円、営業利益300億円を目標とします。2015 年の売上高からは1.5 倍、営業利益で1.6 倍です。グループ全体の重点施策は次の3つです。1つ目は、HORIBA の技術を新分野・新市場に展開し、顧客との真のパートナーシップの構築をする。2つ目は、バランス経営、マトリックスオペレーション、HORIBAステンドグラス・プロジェクトという、HORIBA 独自に築き上げた文化の集大成として、「Super Dream Team」を形成する。3つ目は、これまでの投資を、ビジネス拡大に素早く結びつけるために資産効率の向上を図るというものです。



②—株主総会で2名の社外取締役が新たに選任されました—

・宗教法人青蓮院代表責任役員 門主 東伏見 慈晃（ひがしふしみ じこう）氏
宗教法人青蓮院門主としての卓見に基づく倫理的観点からの助言や金融機関での勤務経験等を経営に活かされる予定。

・元京都大学工学研究科客員教授、前パリ日本文化会館館長 他

竹内 佐和子（たけうち さわこ）氏
工学博士としての見識や当社主要拠点があるフランスをはじめとした国際経験を当社経営に活かされる予定。初の女性取締役です。

（3月26日）

③—HORIBA BIWAKO E-HARBOR 竣工式開催—



竣工式にはご来賓として、滋賀県知事、大津市長をはじめ、重要顧客や近隣企業の関係者、設計、施工業者、Gr.堀場洛楽会の方々をお招きし、社内関係者を含め約300名が参加されました。神事、テープカット、工場見学の後、E-HARBOR 9階にある食堂にて直会が開催され、滋賀県知事 三日月 大造氏、大津市長 直美氏から、HORIBAと地元滋賀県の発展を期待するメッセージをいただきました。その後、HOR びわこ工場長 西村 公志（マサシ）さんによる決意表明が行われ、イシさんによる中締めでお開きとなりました。OB会から酒井、船越両名が参加しています。（5月23日）

編集後記

リオオリンピックが近づいています。アーチェリーの林選手の壮行会もありました。英国のEU離脱決定で様々なところに影響が出ています。雨の多かった地域や水不足の地域等生活に与える影響も広がっています。お見舞い申し上げます。様々な課題は複雑に絡まり地域を超え

て影響が出ています。人間の持つ知恵によってより良い方向に変えていきたいものです。サッカーEURO2016では、前回優勝したスペインが敗退したことは残念ですが、小国が活躍しました。変化に対応する必要性を教えてください。季節柄お体ご自愛下さい。（編集者代表）

一年間行事計画について

第20期の年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介しします。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク
(年間5～6回の予定)
 - ・ 鴨川茶店(4月済)
 - ・ 鴨川納涼(8月6日、7日の予定)
- 工房学習支援
- 一泊(日帰り)旅行(2月済)

- 夏の懇親会(9月17日予定)
- 春の懇親会(4月済)
- レジャー例会(4月済、6月済、11月の予定)

開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。

行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

幹事 船越、森山、中村十規人、中村正博
三橋、小川、伊藤哲

工房学習予定

9/23 (金)	10/3 (月)	11/28 (月)	12/2 (金)	2017/2/7(火)		2/20(月)		2/21 (火)
午前	午前	午後	午前	午前	午後	午前	午後	午前
葛野小	鏡山小	桂小	桃山小	羽束師 小①	羽束師 小②	御所南 小①	御所南 小②	御所南 小③
4年	4年	4年	4年	4年	4年	4年	4年	4年
3学級	3学級	2学級	3学級	4学級	4学級	6学級	6学級	6学級
82人	77人	57人	84人	65人	64人	76人	75人	75人

 * 堀場製作所OB会 *
 * 〒601-8510 *
 * 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
 * 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
 * TEL:075-325-5052 *
 * URL http://horiba-ob.com *
 * E-mail horiba.ob@gmail.com *
